



5か年研究の3年目！大いなる飛躍の年に！

札幌市学校保健会 会長 多 米 淳



新型コロナウイルス感染症の拡大により、私たちの日常の生活ばかりか学校生活までも変えてしまってから、3年以上が経過しました。現在でも感染が続いており、基本的な感染症対策を講じながら日常生活・学校生活を過ごさなくてはなりません。その中、今春以降は新規感染者数の減少傾向が見られ、少しずつではありますがコロナ禍以前の生活に戻りつつある印象です。感染予防対策の継続とワクチン接種が進んだ成果かと思われまします。しかし人の動きが活発化し、夏以降には再びの感染拡大を予想する見方もあります。まだまだ気を緩めることなく、しっかりと対策を講じて過ごしていきたいものです。

さて学校では、コロナ対策に加えて、様々なことが話題となっております。ひとつは、昨年の保健会研修会で眼科の天野珠美先生からご講演をいただいた内容「子どもの目の問題」が懸念されております。児童生徒1人1台端末の取組が進み、この4月に入学した小学1年生も既に使い始めていますので、適正な使用法を教え、対策を広く呼びかけ続けなければなりません。次に、近年の地球温暖化に伴い札幌でも以前より気温の高い日が増え、子どもたちの熱中症例の報告例も増加しており、しっかりとした対策も求められます。先日は「部活動時や体育時にはマスクを外すように」との発表もありました。校舎内では、コロナ対策の換気と同時に熱中症対策のための室温管理に配慮していく必要があります。さらに、新たな話題として、6月に学校保健会研修会で宝塚大学の日高庸晴氏より講演いただいた「LGBTs」があります。子どもたちの自尊心にも直接影響を及ぼしかねないことで、学校や家庭・社会の中で理解を深めて、学校内でも十分な配慮をしていかなければなりません。

そのような中、児童生徒の健康の保持増進にご尽力されております学校保健関係者の皆様方に敬意を表しますとともに、札幌市学校保健会の研究・研修活動をはじめとした諸事業の推進にご理解とご協力を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。

札幌市学校保健会は、現代社会において児童生徒の「自ら健康に生きる能力」を育て、自身が心身ともに健康で豊かな生活を送ることができることを基盤としております。所属14団体の組織と特性を生かし協働しながら諸事業に取り組むことで、児童生徒に対する健康教育の推進と学校保健活動の充実を図っております。知・徳・体のバランスの良い育ちを目指す健康教育の推進には、児童生徒一人一人の健康問題に即した適切な保健管理が重要であり、学校、家庭、学校医、地域が連携し、それぞれの役割を果たすことが重要です。

『児童生徒自らが健康を創りだす実践力の育成を志向する学校保健』をテーマに掲げ、令和2年度より5か年研究がスタートしました。研究4部会の共通話題を「不登校」として進めております。昨年度の研究大会では庄井良信氏と半澤郁子氏より、「予測困難な時代を前向きに生きる児童生徒に！」という講演をいただき、学校保健が果たす役割についてのご示唆をいただきました。今年の研究は、「実践を通して深める年」として実践を構築していく流れになります。役員、理事、評議員、事務局員の総力を挙げて取り組みたいと思います。この5か年研究の最終年（令和6年）は、本会創立50周年の大きな節目であるとともに、6月頃には指定都市学校保健研究協議会を札幌市にて開催する年でもあります。札幌市にも実践の提言発表が割り当たります。その発表が「ある学校の発表ではなく、札幌市学校保健会とつながった学校の発表」となるように、これまで積み上げてきた実践と話し合いを生かし、内容を深化させ、2年後の提言発表につなげていきたいと思っております。ご協力をお願いいたします。

広い視野からの情報収集や所属14団体での交流を深めながら、学校、家庭、学校医、地域に還流する方策をこれまで以上に探り、積み重ねてきた知恵と知識を基礎として、さらなる実践・啓発に努力いたします。今年度も、札幌市学校保健会の諸事業の推進をご理解いただき、積極的にご参加ご協力いただくことを、心からお願い申し上げます。

札幌市学校保健会について紹介します！

～「児童生徒自らが健康を創りだす実践力の育成」を志向する学校保健～

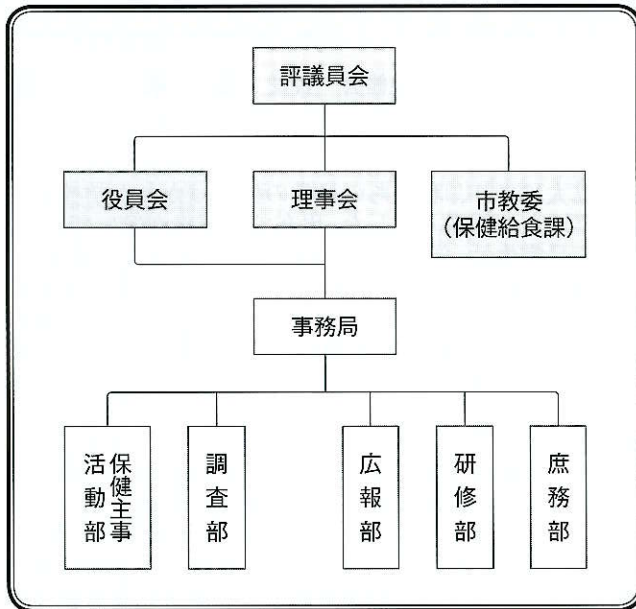
☆目的 札幌市における学校保健に関係する団体が相互の連携を緊密にしながら、学校保健の向上発展に寄与することを目的とする。

- ☆事業 1) 学校保健普及振興に関わる事業 2) 学校保健の研修に関わる事業
3) 学校保健に関する調査、研究と交流事業 4) その他、学校保健に関する事業

☆運営方針

- 1) 学校保健の今日的な課題を明確にし、研究・研修活動及び調査・広報活動を積極的に行いながら学校保健事業の充実を図る。
2) 学校保健会所属団体の連携を密に深めながら、本市学校保健に寄与する。

☆組織図



〈加盟所属団体〉

- ◇札幌市医師会 札幌市学校医協議会
 - ・内科学校医
 - ・耳鼻咽喉科学校医
 - ・眼科学校医
- ◇札幌歯科医師会
- ◇札幌学校薬剤師会
- ◇札幌市 PTA 協議会
- ◇札幌市立幼稚園長会
- ◇札幌市小学校長会
- ◇札幌市中学校長会
- ◇札幌市立高等学校・特別支援学校長会
- ◇札幌市小学校教頭会
- ◇札幌市中学校教頭会
- ◇札幌市養護教員会
- ◇札幌市立高等学校・特別支援学校養護教諭連絡協議会
- ◇札幌市学校給食栄養士会
- ◇その他学校保健関係団体

各団体からの理事と評議員で構成されています。



四部に分かれた研究活動

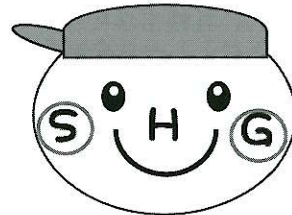
○役員・理事・評議員などの関係者・事務局員の全員が、それぞれの部会に分かれて所属します。お互いの立場からの話題で、交流・研修を深めています。

健康教育

心の健康

保健管理

地域保健



札幌市学校保健会
キャラクター「サガホ」くん

今年度の業務日程

- 4月 第1回理事会・評議員会【札幌市医師会館オンライン】
第73回指定都市学校保健協議会〈熊本市〉にオンライン参加
- 6月 札幌市学校保健会研修会
- 7月 札学保156号の発行（札幌市立の幼・小・中・高と各所属団体へ配付）
- 9月 第2回理事会【札幌市医師会館会共同とオンライン】
- 11月 第72回全国学校保健・安全研究大会〈岩手県・盛岡市〉に参加
第69回北海道学校保健研究大会〈根室市〉に参加
- 12月 札幌市学校保健会研究大会
札学保157号の発行（札幌市立の幼・小・中・高と各所属団体へ配付）
- 1月 第3回理事会【札幌市医師会館会共同とオンライン】
- 3月 札学保158号の発行（札幌市立の幼・小・中・高と各所属団体へ配付）

年間予定より一部抜粋

第73回 指定都市学校保健協議会（熊本大会） 「たえず変化する社会環境に応じて健康で しなやかに生きる力を育む学校保健の推進」

札幌市立南郷小学校 校長 大宮 健一



令和4年6月5日、第73回指定都市学校保健協議会が熊本県熊本城ホールをメイン会場として、オンラインで開催された。開会式では、熊本市長、熊本市学校保健会会長、熊本市教育長からの挨拶、日本学校保健会専務理事より祝辞があった。全体協議会では、昨年度の相模原大会の報告と事後処理、今年度の熊本大会運営方法、令和5年度の福岡大会決定と挨拶があった。

【記念講演】

「新型コロナウイルスワクチンの開発状況」について

KMバイオロジクス株式会社

代表取締役社長 永里 敏秋 氏

◆副反応の少ない不活化ワクチンの開発

乳児に摂取する3種混合ワクチンを4種や6種にしている技術を有している。それを活用し新型コロナウイルスの不活化ワクチン開発に成功している。不活化ワクチンとは動物の細胞でウイルスを増殖し、薬剤によりウイルスを死滅させてから精製して作るワクチンである。メッセンジャーRNAワクチンとは違い、副作用を発生させる物質が含まれず、低年齢への摂取が可能なワクチンとなる。

◆不活化ワクチンの承認へ

2000人を対象とした成人第Ⅱ/Ⅲ相臨床試験を経て、厚労省へ出向き、早期申請と緊急承認を目指している。幼児を含む若年層への効果があることがわかっている。順調に進めば、今年度中の供給が実現する可能性がある。フランスバルネバ社の不活化ワクチンが4月14日イギリスで承認されている。その会社とも連携して進めている。

午後からは、4つの課題別分科会が行われ、私は第1分科会（健康教育）に参加したので、報告いたします。

課題別協議会 提言1

「効果的な健康教育を提供するための、
学校医と学校とのよりよい関係の構築について」
～学校医も学校保健の仲間です～

横浜市医師会 水谷 隆史 氏

◆アンケートを活用して考察

学校医と学校との連携に関する内容を、養護教諭対象のアンケート結果、学校医を対象としたアンケート結果から考察した。その結果、学校保健委員会へ学校医が参加しているかどうかと学校との連携に関わりがあるのではないかと考察する。学校医にも学校保健の仲間として、健康診断や就学時健診のみならず、学校保健委員会や学校保健計画策定後の意見聴取、人事異動など遠慮なく声をかけてほしいと考えている。

課題別協議会 提言2

「名古屋市における学校歯科保健教育の取組」

名古屋市学校歯科医会 会長 伊藤 裕一郎 氏

◆学校における歯科保健教育

他律的健康づくりから自律的健康づくりへの転換期である小学校3年生を対象に歯垢染色による歯磨き指導を行っている。古いプラークと新しいプラークで色が変わる染色剤があり効果的である。また、12〇運動（イチニイマル12歳児虫歯0本運動）も進めている。

課題別協議会 提言3

「自らの健康と安全に関心を持ち、
保持・増進ができる児童の育成」
～教職員間の連携を深めた指導を通して～

京都市立鷹峰小学校 養護教諭 山脇 柚佳里 氏

◆睡眠指導、薬物乱用防止教室

睡眠に関する教職員研修実施後に、児童の生活調べをもとに睡眠指導を実施した。早く寝るためにできることに焦点を当てた指導により効果があった。また、薬物乱用防止教室を小学校5年生対象に自己有用感を高めることを目標に、担任・養護教諭・警察職員が連携して実施した。児童が健康・安全に生活するためには、関係者の連携を深めていくことが必要不可欠であると実感した。

課題別協議会 提言4

「神戸市におけるフッ化物応用事業の取組」

神戸市歯科医師会 山本 哲也 氏

◆フッ化物応用モデル事業

神戸市立小学校4校をモデル校としてフッ化物先口・フッ化物塗布を行った。対象は小学校2年生。その結果、むし歯の児童の減少が見られた。むし歯は家庭での生活習慣や生活環境に大きく影響を受ける。その健康格差の解消のためにも、フッ化物応用は有用であると考えられる。

課題別協議会 提言5

「北九州市薬剤師会の健康教育に関する取組」

北九州市薬剤師会 吉村 順二 氏

◆くすり教育、薬物乱用防止啓蒙キャンペーン

正しい薬の使用方法を伝えるくすり教育、薬物乱用防止教室を通じて健康教育に関する取組をしている。防止啓蒙キャンペーン等でその効果を実感すると共に社会変化に応じた啓蒙活動の必要性を課題として感じている。

いずれの実践も非常に興味深い内容であった。

令和4年度 札幌市学校保健会 研修会 「LGBTsの児童生徒への理解を深める」報告

札幌市立緑丘小学校 教諭 丸山 悠

6月17日、札幌医師会館を主会場に、令和4年度研修会をオンラインで開催した。宝塚大学看護学部の日高庸晴教授が「LGBTsの児童生徒への理解を深める～児童生徒の自尊感情を高めるために」と題して講演。日高教授が調査したデータをもとに、性的マイノリティの児童生徒に対する学校の支援の在り方や教師の関わり方などを説明。「当事者にとって、誰が本当の理解者なのか分からない。多様性を尊重する環境を整備することが支援になっていく」と呼びかけた。

日高教授は冒頭、同性愛者および両性愛者の人口比率に関する調査結果を示し「性的マイノリティの児童はクラスに一人の割合でいると考えた方が良い」と指摘。「自校には性的マイノリティの児童がいない」と捉えて、LGBTsへの対応に配慮が少ない状況が少なからずあることに警鐘を鳴らした。

わが国における性的指向と性自認に関する動向として「テレビなどで“ネタ”として扱われたり、公職にある人が差別発言したりする」などの例を挙げ、「こうした社会にあって、LGBTsの当事者は自己肯定感や自尊感情を育むことができるのか」と疑問を呈した。

3年3月、札幌地裁が同性婚を認めないのは違憲とした判決を解説。その上で、LGBTsの存在を視野に入れた教育現場における実施可能な取組として、①教員研修②授業③性的指向や性自認などに関する教諭のポジティブな発言④図書の配架一などを例示した。

トランスジェンダーや性別違和に係る児童生徒に対する学校の支援の事例として、服装やトイレに関する配慮を挙げ「学校によって、取組をするかしないかが変わることがあってはならない」と強調した。

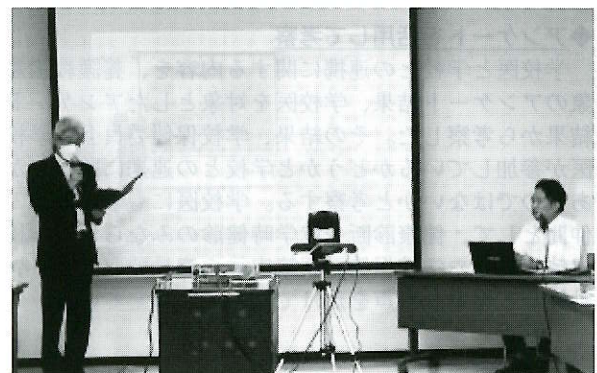
続いて、LGBTsの当事者約1万人を対象にした調査結果を紹介。周囲との違いに初めて気付いた年齢について「トランスジェンダーの人は、レ

ズビアンやゲイ、バイセクシャルの人と比べて低年齢の傾向があった」と説明。「児童生徒が他者との違いに気づき始める年齢を知って、早め早めに教育を始めても良いのでは」と提起した。

周囲との違いに気付いた時、誰かに相談したいと感じたかを年齢別に調査したところ、「10代が最も高かった。とりわけトランスジェンダーに高率な傾向があった」と指摘。「教師が最初の解決の役に立ってくれたか」という調査については、各年齢層で低い結果だった一方で、若年層ほど教師が助けになったと認識していることを紹介した。

親や職場・学校へのカミングアウトする状況を見ると、若年層ほどカミングアウト率が高くなっていることを示した一方で、およそ25%が性的指向と性自認を暴露される被害に遭っていることも説明。「当事者にとっては、誰が本当の理解者なのか分からない。多様性を尊重するために、人権教育などの一環で、学校が積極的に授業で取り組むことが重要である」と訴えた。

会の最後には、参会者から、運動会での短距離走やトイレでのLGBTsへの配慮の仕方について質問があった。当たり前の配慮をベースにして、一人ひとりに合わせた取組をすることが重要というお話をいただいた。今回の講演をスタートにしてこれからも学び続けていきたいと考えさせられる講演であった。勤務校でも全ての子どもたちが安心して生活できる環境を整えていきたい。



専門の立場から

子どもたちに「生きる力」を育むために
地域・家庭との協働を目指して

札幌市立東園小学校教頭
米澤 祐司

札幌市小学校教頭会、学びの支援部は『知・徳・体にわたる「生きる力」を子どもたちに育む校内体制と地域・家庭との協働に向けた教頭の関わり』という研究主題を設定した。



今年も、

1. 確かな学力の確実な定着
2. 児童生徒の豊かな人間性の育成
3. 児童生徒の健康、体力の増進
4. 生き抜く力やこれから求められる資質、能力の育成
5. 児童生徒の発達を支える教育課題

の5つの研究領域をグループに分けて提言を中心に理解を深めていきたいと考えている。

各提言を通して多忙を極めている各校教頭の学びを深める機会としていきたいと考えている。

これまでの研修の中で、各学校に配置されているタブレットを活用したアナログとデジタルの融合「ハイブリット学習」への挑戦について教職員のスキルアップをしていく取組を通して、タブレットの活用が一気に進んだ事例報告があった。また、子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくりについて教育相談の機会を増やし、保護者と情報共有するとともに、児童理解を深めるため様々な研修を通し、教職員の資質向上を図っていく取組が報告された。

また、提言だけでなく各校（各区）の情報交流の時間を大切に、困っていること、貴重な体験をしたこと、ちょっとした工夫などを出し合いながら、学びの支援部の仲間が各々の学校で活用できる話題・情報を交流し合い、研鑽し合う部としていきたい。

ゆっくり、ゆったりと。

札幌市立前田中央小学校 養護教諭
佐藤 綾子



ステイホームが始まった頃、養護教諭という職務について考える時間が増えた。新型コロナウイルス感染対策の「人との距離をとらなければならない」状況は、誰もが心と体の健康のバランスをとることの難しさに直面し、私自身も保健室からできることは何だろう…と、頭の中で答えがまとまらずに時間だけが過ぎた。そんな時、保健室の「保」の漢字の成り立ちを知る機会があった。「呆」は、おむつをした赤ちゃんで、その赤ちゃんを大人が抱き上げる姿を示したものだそうだ。赤ちゃんを優しく抱き上げた時の感覚やその光景を思い浮かべた瞬間、ずっと頭のもやもやが晴れて、心が軽くなり、子どもたちを温かく見守り、寄り添うことを大事にしたいと改めて感じた。

少しずつ日常生活に戻りつつあるが、この二年間で子どもたちの視力低下や運動不足による体力低下、生活リズムの乱れなどの新たな健康問題が浮き彫りになっている。そこで、本校では今年度から「健康な体をつくるために」と題して、睡眠、生活リズム、朝ごはん、目の健康などについて学年別にピックアップし、保健指導を行うこととした。計画を練っていた時、以前、夫が「小学校の時の保健の先生が、放送で目の体操を教えていたな…」と、目をぐるぐる動かして話していたことを、ふと思い出した。保健指導が大人になっても記憶に残り、じわじわ効き続けることに気づき、保健指導の大切さを再認識した。少しでも子どもたちの心と体に効く内容を考えたいと思った。

このことは、コロナ禍だったからこそその気づきで、このゆっくりと流れた時間が私には必要だったと思えた。そして、保健室から子どもたちを見守り、一緒にゆっくりと過ごし、考え、ゆったりと関わることを大切にしようと決めた。

先日、3年ぶりに全校児童での運動会が行われた。感染対策で制限がある中だったが、全校が心ひとつに一生懸命取り組む姿から、マスクを外せなくても、充実した顔や笑顔の子どもたちを見ることができた。とは言いつつも、来年の運動会はマスクなしの笑顔で溢れることを願う。

編集 後記

今回の紙面報告にもあります、研修会ですが、大変多くの方々にご参加いただきありがとうございました。また、本号発刊にあたり、お忙しい中ご寄稿いただいた先生方、本当にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

〈広報部：中塚・堂前〉

令和4年度

札幌市学校保健会名簿

役職	役員名	所 属	TEL
会 長	多 米 淳	医師会 (中)大通西19丁目札幌市医師会館	TEL611-4181
副会長	有 岡 秀 樹	医師会 (中)大通西19丁目札幌市医師会館	TEL611-4181
副会長	高 橋 修 史	歯科医師会 (中)南7条西10丁目札幌歯科医師会館	TEL511-1543
副会長	宮 下 元 樹	学校薬剤師会 (豊)平岸1条8丁目北海道薬事会館	TEL811-0184
副会長	村 元 秀 之	小学校長会 (中)資生館小学校	TEL204-9811
副会長	伊 藤 直	中学校長会 (東)栄町中学校	TEL712-4224
副会長	小 山 学	高等学校・特別支援学校長会 (北)豊明高等支援学校	TEL774-2222
監 事	中 村 次 也	学校薬剤師会 (豊)平岸1条8丁目 薬剤師会公衆衛生センター	TEL824-1348
監 事	小笠原 宏 至	PTA協議会 (西)札幌市生涯学習総合センター(ちえりあ) 中島中学校	TEL671-2371

所 属	理 事	評 議 員
学校医協議会 内科学校医	境野 環樹 (手)さかいの小児科 TEL691-9131	古田 博文 (西)ふるた小児科クリニック TEL671-1188 岡村 暁子 (中)うめつ小児科 TEL643-8878
	佐野 宏行 (北)佐野耳鼻咽喉科 TEL763-3387 新谷 朋子 (中)とも耳鼻科クリニック TEL616-2000	松島 純一 (豊)まつしま耳鼻咽喉科 TEL816-3387 唐崎 玲子 (清)アリス耳鼻咽喉科 TEL886-8733
学校医協議会 眼科学校医	上野 哲治 (西)小原眼科医院 TEL631-5581 天野 珠美 (南)川沿眼科 TEL572-5131	豊田 千富 (豊)とよだ眼科 TEL820-7888 中田 勝義 (清)北野通り眼科 TEL884-7180
	齋藤 嘉高 (厚)さいとう歯科 TEL897-1117	塚本 晃也 (手)塚本歯科医院 TEL685-4701
学校薬剤師会	田中 稔泰 (豊)薬剤師会公衆衛生センター TEL824-1348 中山 章 (北)北海道医療大学薬学部 TEL0133-23-1211	高村 茂生 (豊)JCHO北海道病院 TEL831-5151 手塚 崇博 (豊)薬剤師会公衆衛生センター TEL824-1348
	深谷 正史 (北)篠路西小学校 TEL772-0275 湯浅 雅之 (厚)厚別区P連合会 TEL894-2394	高原 周作 (豊)西岡北小学校 TEL855-5456 長崎 教尚 (清)清田中学校 TEL881-2034
幼稚園・こども園長会	坂田 恵子 (西)はまなす幼稚園 TEL666-9477	(坂田 恵子) (西)はまなす幼稚園 TEL666-9477
小学校長会	相馬 聡 (豊)東園小学校 TEL811-8138 小菅 猛雄 (手)前田中央小学校 TEL681-4811	久保 幸範 (東)札幌北小学校 TEL791-3831 高橋 直之 (北)光陽小学校 TEL761-2521
	三浦 英悟 (西)琴似中学校 TEL611-1351	乙坂 誉日 (清)北野中学校 TEL882-0754
高等学校・特別支援学校 養護教諭連絡協議会	宗石健太郎 (西)山の手支援学校 TEL611-7934	益満 等之 (南)豊成支援学校 TEL583-7810
小学校教頭会	米澤 祐司 (豊)東園小学校 TEL811-8138	田中 徳光 (北)茨戸小学校 TEL771-2410
中学校教頭会	杉田 勝 (豊)西岡中学校 TEL583-3560	伊東美智恵 (東)明園中学校 TEL721-5305
養護教員会	小笠原麻実子 (白)日章中学校 TEL831-6196 伊勢真由美 (北)拓北小学校 TEL772-7035	田中 朋美 (手)手稲山口小学校 TEL682-8167
	西村 香織 (中)旭丘高校 TEL561-1221	神原 香織 (中)旭丘高校 TEL561-1221
学校給食栄養士会	運上 央子 (中)三角山小学校 TEL643-1133 佐藤 有紀 (厚)もみじの丘小学校 TEL805-1605	千葉 直美 (手)手稲中学校 TEL681-2557
	保健主事連絡協議会	

<p>札幌市教育委員会 (中)北2西2 STV北2条ビル5階 保健給食課保健係 <u>TEL 211-3841</u> <u>Fax 211-3834</u></p> <p>教育次長 竹村 真一 学校施設担当部長 池田 秀利 保健給食課長 大門 哲人 保健係長 道 貴之 保健指導担当係長 半澤 郁子 保健係 岩城 秋子 保健係 松永 浩平 保健係 伊藤 隆彦</p>	<p>札幌市学校保健会事務局 札幌市立北野台小学校 〒004-0864 (清)北野4条5丁目4-80 <u>TEL 882-5281 Fax 882-2792</u></p> <p>参 与 岸 泰弘 手稲宮丘小ミニ児童会館 TEL688-5260</p> <p>事務局長 堀江 仁 北野台小 TEL882-5281</p> <p>次 長 大宮 健一 南郷小 TEL861-9305 次 長 石井 貴司 北白石中 TEL871-2948</p> <p>庶務部長 三浦 直樹 真栄小 TEL882-7925 部 員 吉田 未来 和光小 TEL736-7351</p> <p>研修部長 丸山 悠 緑丘小 TEL561-5118 部 員 堤 沙季 資生館小 TEL204-9811</p> <p>広報部長 中塚 宗太 白楊小 TEL726-4158 部 員 堂前 友里 前田小 TEL683-3749</p> <p>調査部長 中山 明朗 元町小 TEL781-8111 部 員 宇都宮知佳 新発寒小 TEL662-7820</p> <p>保健主事活動部 全事務局員</p>
---	---